

## 兄弟げんかが子どもを成長させる①

子どもが2人以上いると、必ず起こる「兄弟げんか」特に、手足が出たり、大声で乱暴な事を言ったりすると、心配になる事もありますね。

では、兄弟げんかにどう対応したらよいのでしょうか。

年齢や場合によって対応方法は違います。2～3歳の子どもは、まだ自分の衝動を抑える事が出来ません。

その理由の一つが、脳の「前頭前野」と呼ばれる部分がまだ機能し始めていない為といわれています。

「前頭前野」とは、衝動的な欲求を抑える脳機能の中核で、いわば「理性」です。

この部分が未発達なうちは、ちょっとした事で、たたく、蹴る、噛み付く、引っかくなどの困った行為をしがちです。

上の子どもが、2～3歳だと下の子どもは0～1歳の赤ちゃんですから、つい上の子を叱りたくなりますが、言葉で「そんな事をしたらダメ！」と叱っても、なかなか言う事を聞いてくれません。

まず、「身体で止める」事。抱きしめたり、抱っこして違う場所に連れて行って、お話する事がおすすめです。

この時期は、下の子が産まれてヤキモチをやいたり、構ってほしくて赤ちゃん返りをしやすい時でもあります。

弟や妹に乱暴するのは、「もっと自分にも構ってほしい」という気持ちの表れかもしれませんが、少し意識して、スキンシップを増やしたり、褒めてあげたりすると、兄弟げんかも少しずつ減ってくるかもしれませんね。